



試合を観戦する時のマナーと心がけ

1) 試合を観戦、応援されるエリアは原則的にはサッカーコートの方のピッチサイドに限られます。

特に子供達に声をかけることがある場合には、上記の原則を必ず守ってください。
攻防の焦点となる両方のゴール後方には絶対に立たないで下さい。
(無言で立つのもご遠慮下さい。)

また大会ごとにローカルルールで担当コーチ以外の方のピッチサイドへの立ち入りを厳しく制限している場合もありますので、クラブ、コーチから案内がありましたら遵守してください。

2) プレー中の子供達へのかけ声は“**励まし**”に徹して下さい。

まず、担当コーチ以外の者がプレー中のチーム、プレーヤーに具体的・技術的助言をすることは競技規則で禁止されています。
応援に熱が入り、ついついアドバイスしたくなりますが、そのつど思い直していただければ次第に改善されます。

子供達は自分自身の為、チームの為にプレーします。

そしてその頑張りを応援者に認めてもらいたい、褒めてもらいたいものです。
子供達は叱られたり、馬鹿にされるためにサッカーをしているわけではありません。

ですから、お父さん、お母さんがご自分のお子さんやチームにかける声は常に“**励まし**”であり、子供達を勇気付けるものであってほしいのです。

プレー中に注意が必要なら、それは指導者(監督・コーチ)がします。

応援者は常にプレーヤーの味方であり、お父さんお母さんは**お子さんの最高のサポーター**です。

3) 審判員への抗議は規則違反、相手チームへの暴言はマナー違反です。

実際のゲームにおいては審判員の裁定などに疑問や不満を持つこともしばしばありますが、競技規則では、審判員に対する抗議・暴言は違反行為であり処罰される場合があります。
レフェリングについて声高に異を唱えてはいけません。

また、相手チームのプレーヤーやベンチに対する暴言や誹謗中傷の言葉は著しいマナー違反として、やはり処罰の対象となる場合があります。

子供達は見ています、聞いています。

口汚い言葉や、非礼な態度のないように気をつけましょう。

4) 勝ち負けを超えて互いに健闘を称え合いましょう。

少年サッカーでは、ゲーム終了後にそれぞれのチームが対戦相手のベンチサイドに整列して挨拶することが慣例になっています。

そしてその後にそれぞれが自分たちのベンチサイドに再び整列し、挨拶します。
我がチームの子供達にも、相手チームの子達にもかわらぬ**拍手とねぎらいの言葉**をかけてあげて下さい。